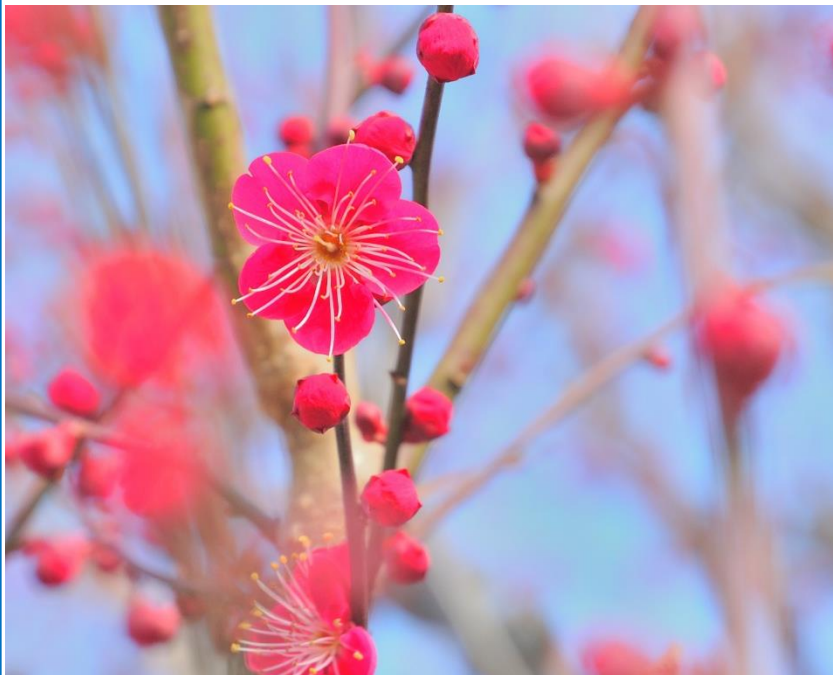


# タイピックだより

3月号



2020.3.20 発行 Vol.87



早春の3月。今年の冬は春が待ち遠しいというほどの厳しい寒さがありませんでした。いざ春を前にすると心が弾むような気がします。今年には暖冬であり桜の開花も早いかと思いましたが、暖冬の影響が強すぎた九州や四国は逆に開花が遅くなる可能性があるのでです。桜の休眠打破には、花芽が一定

期間低温にさらされる必要がある。暖かすぎると必要な低温が得られずに開花が遅れるのだそうです。美しい桜の開花に低温が必要なように、一面から見ただけでは別々の面には必要であることも多いでしょう。一面にとらわれるのではなく多方面を意識したいものです。

今年の春分の日は3

月20日です。祝日法では「自然をたたえ、生物をいつくしむ」とされています。この日は7日間あるお彼岸の中日であり「暑さ寒さも彼岸まで」という言葉があるように季節の区切り目にもなっています。お彼岸はインドや中国にもない日本独特の行事だそうです。一説によると「彼岸」は「日の願（ひのがん）」という言葉から出ており、春のお彼岸は仏教の伝来前より行われていた春分の頃に豊作を祈る太陽信仰が起源といわれています。太陽は天照大神という万物を生み育てる有り難い「お天道様」に豊年を祈ることから春分の日が「自然をたたえ、生物をいつくしむ」と言われているのだそうです。



なくてはならない水だから  
安心安全な水をいつもそばに



環境にやさしく、おいしく安全な水を皆さまのご家庭やオフィスにお届けします。

ウォーターネットのウォーターサーバーは、いつでもお水もお湯もご利用いただけます。

ご利用は、担当営業にお問合せ下さい。

安心安全な水をいつもそばに

無料お試し実施中！

必要とされる人へ、必要とされる会社へ

Typic 株式会社 タイピック

〒698-0023 島根県益田市常盤町7番3号  
Tel. (0856) 23-2800 代 Fax. (0856) 22-5592 番  
http://www.typic.jp



# 社長のつづやき



新型コロナウイルスを政府が「指定感染症」に指定宣言し、感染拡大に対する懸念の報道などにより、2月28日より4泊5日で、ベトナムハノイで計画されていた人材交流&マッチング会が延期となり、3月3日に開催予定の倫理講演会や某社の「加盟店オーナー会議」も中止となった。

このような状況の中、2月17日に湯布院に泊り、18日朝9時過ぎに由布市内にある「金鱗湖」付近を散策した。数年前に訪問した時には中国や韓国など海外の人の多さに驚いたことがあり、最近はどうなのかなと思いつながら行ってみたら、外国人は見ることもなく、火曜日の朝ということもあってか、本当に少ない観光客であった。これでは観光客相手の商売は大変だなと思いつながら回った。早い終息を願うばかりである。

湯布院の帰り道、凍結している道路を走っている途中で「道路脇に落ちていた空き缶」の話になった。「なぜ、道路脇にコーヒーやジュースの空き缶を捨てるのだろうか」と。

私が今年1月に自宅を午後1時頃に出て、ファクトリーパークから虫追・飯田を経由して益田までの約12キロを歩いた時に『たばこの吸い殻』や『溝や谷に捨てられているコーヒーの空き缶類やペットボトル』の多さに驚いた。谷には同色の缶が捨てられており、一人のひとが定期的に捨てているのか、ゴミがゴミを呼び、その場所が不法投棄場所になったのだろうかと思いつながら歩いてみると、道路の真ん中あたりに今捨てたであろうビールや缶の空き缶があつたのだ。これには驚いた「こんな真ん中に車から捨てるか?」「道路の真ん中ということでは運転している者が捨てたのかな?」と。

この時にペットボトルを持って歩いたが、確かに空ボトルは邪魔になり捨てたくなる。捨てた人の気持ちは分かるが、美しい日本の自然を破壊してはならない。

昨年、東京の高速道路をバス

に乗り外を眺めていたら、道路脇の緑地帯に空き缶やペットボトルが山のように捨てられており驚愕したことがある。今年オリンピック・パラリンピックが開催されるのにあのゴミはどうしたのだろうか心配している。

ある時、国道191号の海岸沿いでゴミ拾いをしている人を見つけた。「こんなところで、何処から来た人だろうか」と思いつながら見ていたら、大型トラックが止まっていた。他に車は無く確かにトラックの運転手さんだろう。素晴らしいと思った。誰でもいつでも掃除はできるのだなと思いつ、ゴミ袋を車に積んだが掃除ができていない自分を反省している。せめて図書館の前の掃除くらい続けよう。



## わが社のほっとコーヒー



### 耳つぼイベント

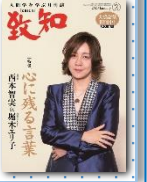
ゆっくりやさしいパソコン教室のプチイベントとして、「耳つぼマッサージ」体験を開催いたしました。日頃意識して生活することの少ない耳ですが、実は沢山のツボが集中しています。マッサージしてもらい、かわいい耳ツボジュエリーもつけて頂きました。

「痛くて気持ち良くてほぐれた感じがしました」とてもよかったです。会話をしながら、色々教えてもらいました。おしゃれにもなり、大満足のひと時でした「自分へのご褒美になりました」声をかけてもらい大変嬉しく思います。又若くなりました。又このようなど、体験した生徒さんから大絶賛のイベントでした。

### 耳つぼはこんなにたくさん!



# 社内木鶏会 致知の感想



## 特集 心に残る言葉

〇A事業部 吉松 一彦



「古語に、人を思い人を思いてもまざれば天を助け、人を助け人を助けぬを勤めてやまざれば又天を助けぬ」といふ言葉が今回の特集の中では印象に残りました。何となくとも実現したいと思ひ、思ひ続けていると天が助けてくれるが、その表現に向けて勤め続けていると天はまた助けてくれる。」の意味を読み、思ひ続けること、考え続けることも大事だが、それ以上に実行すること、行動し続けることはそれ以上に大事なことで改めて感じました。思ひ、考え、行動、誰でもできますが、それを行動に移すとなると、何かと理由をつけてやらなかったりと計画だけで行動がともなわないことが今までの自分の中でもあったと思ひます。とにかくまずは行動してみよう、それを続けていくことを心がけていきたいと思います。

## オンラインワンを追求し、地域ナンバーワンへ

〇A事業部 寺戸 雄次



今回の対談で、寺戸の社長が力を入れていることを言われていた。「地域密着」と「外販」である。益田市もそうだが、人口減少や高齢化の中でのことであるべきか、どうしていくかが今後大切なのだと思う。感じた。また、人や会社が減っていく中で限られた場所だけで、会社を発展させていくのは難しいことだ。「外販」と言われている。地域に根を張りながらも外に打って出らなければならない。職種こそ異なるが、今後の会社

の在り方として正解なのだろうと感じた。そう思った考えをどこかで活かせたりと思ひ、それと、「なぜを三回繰り返せ」とも言われている。原因分析を突き詰めてゆつやく見えてくるものがあると思ひ、一回のなぜで終わるのではなく、その次のなぜが出てくるようにしていくかなという思い。

## オンラインワンを追求し、地域ナンバーワンへ

印刷事業部 河野 晶



北海道の「ノビ」子エーの社長と沖繩で事業を展開する社長の対談記事は両社とも大手が全国で支持されているからという、自分達の地域にあわないものはあえて取扱わない独自性を出して成功したところがすごいと感じました。地域の方の為に言われる事を考え、取り組み、地域1番店になったようです。記事の中で丸谷社長が口頭から社員に伝える事は「なぜを三回繰り返せ」と書いてあります。なぜだなぜだと繰り返す事でもその本質が見えてくる。疑問をたくさん持つ人は仕事が出来ないと思ひ、疑問がありました。疑問に思ひ、成長もしいない。成長もしいない時「悪い理由を考へさせてはダメ」と言ひ、自分も昔何かの本が講演で、人に注意する時は何かはめてから注意すると言葉がスムーズに入っていると聞き、以前の職場で責任者をまかされた時や子育ての時に気をつけていた事を思ひ出しました。なかなかその時の感情が勝つてしまったり、肝心な注意がでなかつたりしました。これからも本を読んだり、講演など心に残った言葉を大切にして人として成長していきたいと思ひました。

# 誕生日の決意

〇A事業部

浅野 成耶



1年が過ぎるのはものすごく早いです。まだまだ若いですが24歳になります。入社してから4年が過ぎようとしていきます。日々いろいろな経験をさせてもらい、そして学び、ことも多く、とても勉強になっております。学生時代よりも勉強しているなあと思ひますし、頭がなかなかついていきませんがなんとか頑張っていると思ひます。仕事面においても念らず日々精進していきたいです。

プライベートにおいては、1月に第1子を授かり、より一層家庭内も賑やかで充実した日々を送っています。

浜田教室

児玉 敬子



今年に入って友達に誘われ、講演を聞きに行ったり、講師の方とお話をする機会を頂きました。皆さんとても情熱的で生き生きとしていて、自信に魅力に溢れていました。この世界で活躍されているかは関係なく、勉強熱心でゆるぎない真っすぐな思いに圧倒され、その時は心がいっぱいになってしまいました。でも、一晩寝たらなんだか心地がいいのです。私が忘れていたこと、悩んでいたことの解決策がそこにあったのです。

今年の一文字に「留」と書きました。全ての問題の始まりは私からだとして、しっかりと受け止め前を向いて、否定は



す。子育てをしながらの毎日はまだ慣れないことばかりですが、一日一日の成長を見るのはとても楽しいのでまったく苦ではありません。まだまだこれからいろいろなことがあると思ひますが、一日を大切に、生活していきたいなと思ひます。

この1年は仕事と子育てとで大忙しな1年になると思ひますが、親子共々、健康で楽しく過ごしていけたらいいなと思ひます。

\*\*\*  
 かりせず、小さな自信を勇氣という言葉に乗せて行動していきたい。『艱難汝を玉にす』『利他に生きている』致知を読み人生の柱となる言葉と巡り会い、辛いときは呪文のように唱える。大丈夫と言ひ聞かせ「ワクワクする気持ちと冷静さ」を忘れず今年も何が起ころうやら！楽しみます



# ゆっくりやさしいパソコン教室

力作が勢ぞろい！

益田教室 清水 壮一

今年も、恒例の「写真コンテスト」の季節がやってまいりました。

このコンテストは、ゆっくりやさしいパソコン教室の、益田教室・浜田教室・萩教室・廿日市教室・宇治教室の5教室共同開催イベントで、各教室の生徒さんが出品した作品を一堂に展示し、生徒さんが好きな作品に投票するというものです。

作品の種類は、写真部門・フォト575部門・ワードでお絵かき部門・水彩画部門の4部門です。

写真部門は、デジカメやスマホで撮った写真です。長年趣味でカメラをやって来られた方やスマホで初め



全部門総数  
162作品

フォト575部門



て写真を撮られた方などいろいろな写真を取り込み、そこに575の俳句を付けるというものです。写真と俳句が組み合わせることにより、新たな面白さが生まれてきます。

ワードでお絵かき部門は、ワードの図形の機能を使って絵を描くというものです。図形で描いたとは思えない力作揃いです。

水彩画部門は、「水彩」という専用ソフトを使います。マウスで、本当の絵筆のように水彩画を描くことができます。これも力作揃い。

生徒さんは、投票用紙にそれぞれの部門ごとに自分の好きな作品の番号を書いて投票します。

デジカメの写真は、パソコンと連携することによって、よりクリエイティブな作品に発展していきます。

また、普段感じたり思っていることを表現したり、共有することもできるすばらしい媒体です。さらに5教室共同企画であることで、「よその教室にはこんなすごい作品を作る人がいる」と明日からの創作意欲を刺激されます。

パソコン教室は、パソコンの使い方をお教わるだけではありません。自分自身を表現することができる場所です。さあ、あなたも一緒にやってみませんか？

投票の結果発表は、5月号の予定です。お楽しみに。

ワードでお絵かき部門



水彩画部門

シニア・初心者のためのパソコン教室です

- 益田教室 島根県益田市常盤町7-3 株式会社タイピック1F
- 浜田教室 島根県浜田市相生町1391-8 シティバルク3F
- 廿日市教室 広島県廿日市市木村港南3-14 安野産業株式会社2F
- 萩教室 山口県萩市土原川島445 萩ショッピングタウンG棟
- 宇治教室 京都府宇治市大久保町上ノ山32-2 石田ビル1F



同じことを100回聞かれても笑顔でお答えします